

一般社団法人国際介護人材育成事業団

## 2020年度 第1回理事会議事録

日時：2020年6月20日（土）15時05分～16時05分

会場：パルシステム生活協同組合連合会2階 第2会議室

出席者：（理事）金澤 剛 福本京子 小沼正昭 上野 歩 江口 幸一 小國 英夫  
佐藤 健二

（監事）石原 温 松本 典丈

配布書類：理事会の議案書

### ○招集と定足数

金澤理事長より、6月10日、定款35条1項に基づき、2020年度第1回理事会を招集したこと、又、15時05分現在、理事総数の過半数以上の理事7名全員が出席し、定款37条1項に基づき、本理事会は有効に成立したことが報告された。

尚、本理事会は、新型コロナウイルスの解散拡大の防止の観点から、これまでと異なる運用で、パルシステム生活用同組合連合会2階第2会議室と各役員（理事・監事）の職場及び自宅をつなぐWEB会議システムを用いて実施した。

その後、金澤理事長が議長に就き、開会を宣言し議事に入った。

### ○審議事項

#### 1. 第1号議案 正社員の入社承認の件

議長は、小沼専務理事より、議案書に基づき、第1号議案の提案要旨等を説明させ、質疑の後、議場に諮ったところ、以下の正社員（個人）の入社を全員異議なく承認、可決した、

◇正社員（個人） 井上 茂樹 （京都市東山区在住）

#### 2. 第2号議案 代表理事・理事長、副理事長及び専務理事の選定の件

議長は、江口理事より、議案書に基づき、第2号議案の提案要旨等を説明させ、質疑の後、議場に諮ったところ、以下の提案要旨に、全員異議なく賛成、可決された。

◇理事長 金澤 剛 （再任） 代表理事

◇副理事長 福本 京子（再任）

◇専務理事 小沼 正昭（再任）

・任期は、選任後2年内、選任後2年以内を終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとします。

#### 3. 第3号議案 役員（理事）の報酬額決定の件

議長は、福本副理事より、議案書に基づき、第3号議案の提案要旨等を説明させ、質疑の後、議場に諮ったところ、全員異議なく賛成、可決された。

#### 4. 第4号議案 2020年度理事会運営について

議長は、小沼専務理事より、議案書に基づき、第4号議案の提案要旨等を説明させ、質疑の後、議場に諮ったところ、以下の提案要旨に、全員異議なく賛成、可決された。

- ◇ 第1回理事会：2020年6月20日（土） パルシステム連合会
- ◇ 第2回理事会：2020年10月17日（土）（京都を予定） 14時～16時半（予定）
- ◇ 第3回理事会：2021年1月16日（土）（九州を予定） 14時～16時半（予定）
- ◇ 第4回理事会：2021年4月17日（土）（関東を予定） 14時～16時半（予定）

・定款35条2項に基づき、以下の順序で、他の理事が招集します。

福本理事→小沼理事→上野理事→江口理事→小國理事→佐藤理事

#### ○報告事項

議長は、議案書に基づき、小沼専務理事より、一括して報告事項を説明させた。又、書面にて、以下の追加報告と意見表明を頂いたことが報告された。

- 本年度から、正社員（個人）の橋本さんが施設長を務める社会福祉法人同和園（京都市伏見区）において、「留学モデル」による外国人材（3名）の受入が始まっていること。
- 第3期生の皆さんが、日本語検定3級に合格されること、語学指導など大変だと思えますが、期待しております。又、団体（事業団）に加入される法人を、勧誘、増やしていくことが大事だと思いました。

以上を踏まえ、質疑を行った。質疑では、以下のような報告と意見を頂いた。

- ・（2期生で）初めて男性を受け入れたが、とても、熱心で、受入れ施設の評判が高い。今後の受入れも、前向きに検討したい。
- ・1年が経過し、1期生が夜間勤務を開始したが、無難にこなしている。但し、日本語のボキャブラリーの不足もあり、まだ、緊急時の連絡対応などに課題が散見される。
- ・1期生は、来年の秋には、3号移行を希望している実習生も希望していない実習生も、帰国前に必ず随時3級相当の試験を受検する。この段階で、2号で帰国するか、3号に在留して進むのか、判断として問われる。実習生間のSNSでの情報交換も盛んで、各人に寄り添った、柔軟な選択肢の提案や個人面談など、タイミングを統一した対応も求められる。
- ・コロナ感染を受けて、オンライン、リモートワークの常態化が進み、語学教育だけではなく、制度のしくみ、在り方にも変化が生じることは間違いない。送り出し機関、監理団体も同じ温度差で、パラダイムシフトを進めないとチャンスを失う。問題意識の共有や新しい方法について、具体的な協議を進めてもらいたい。
- ・テレビ会議やWeb会議の利用は、利便性とコスト削減の観点から導入が望ましい。資料を共有しながら開催するという利用スタイルの確立、タイムコントロール、画質の向上やフ

リーズ、ハウリングの解消など技術的な精度も上げてもらいたい。

- 直ちに、日本の介護現場で学んだ成果を生かせる母国での就労先は見当たらないが、時代の要請で必ず生じる。この準備のために、僧院のディケア、訪問リハの実験があり、この進捗と調査ための資金調達について、進展はあったのか。この需要調査を踏まえ、要望に合ったスキルを日本の介護技能実習の中で習得させることが出来れば、先が見えてくる。

議長は、その後、議事審議を終了し、16時05分に閉会を宣言して散会した。

以上、相違ありません。

2020年6月20日

一般社団法人 国際介護人材育成事業団

代表理事 金澤 剛

理事 福本 京子

理事 小沼 正昭

理事 上野 歩

理事 江口 幸一

理事 小國 英夫

理事 佐藤 健二

監事 石原 温

監事 松本 典丈